

青息吐息の中『生きています』
が実感です。
でもこれからほとんど良くなる、
だから気分一新、頑張らしましょう。

阪神大震災、地下鉄サリン事件、ドル暴落等々。
不景気なニュースには事欠かないこの頃。

拡大一辺倒で来たマーケットも、今まで経験しなかった
縮小の時代が変わって来ました。

今まで調子良かったから、変わりにたくないけど、
変わらないでは済まされない時代に入ってきました。

『変化とは未知との遭遇』、勇気を持って変わらしましょう。
五年後に迫った二十一世紀でも生き残れるように。

夏物内見会

四月十一日(火)

～十二日(木)です

小社にて開催します

bhfは今回が夏物展、仕入のプロの方の
為の内見会です。

現物に近くらい引き付けてからの展示会
ですが、今年はまだまだ仕入枠はあります
よね。

今回は、品番を絞り込みました。

それは無駄を無くして、その分よりリーズ
ナブルなプライスと低い掛け率を追求した
からです。

『何でもあるは何にもないに等しい。』や
っと得意なものだけをやる勇気を持てまし

掛率はニット四十五%、カット五十%です。
これでやっと世界の買取り条件の常識に追
いついたような気がします。

仕入はお店の命を左右します。より良い商
品で少しでも安い商品を捜し出すのがプロ。
ブランド集めの時代は終わりました。
面倒を見てくれるメーカーもいけれど、仕
入の能力はだんだん腐っていく・・・。



南青山山界隈

日本の各地から桜の便りが聞かれる時節ですね。
皆さんのところにも自慢の桜の名所があると思い
ます。今回は青山で一押し桜の名所です。
人によってはエッセイと言われるかも知れませ
んが、私の独断と偏見ですが、青山一の桜の名所は
青山山界隈。

夏物展お勧め best-3



7色展開
オフ、濃ベージュ、サーモン、クリーム、
ペールグリーン、サックス、ブラック

10ゲージ スカシ編み、コモ編ネック
スカシの柄にかこのテクニックがバランス
良く表現された、さわやかな柄です。
昨年大好評のリバーカロンを使用しました。

NO. 1343 AC55%, RY30%, L15% 特に肌触りの良さと、発色の良さが
上代 ¥14,800 特徴の素材です。



6色展開
オフ、薄ベージュ、サーモン、クリーム、
サックス、ブラック

10ゲージ 畦編み、
一見、有りそうで無い夏の畦、麻100%な
らではの商品です。
風を良く通す畦編みは、見た目よりずっと
涼しく、着やすいですよ。

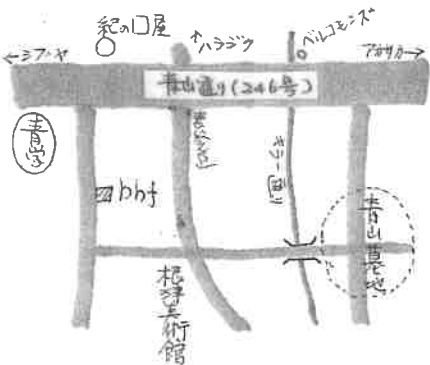
NO. 1351 L100%
上代 ¥12,800



4色展開
オフ、ピンク、ブルー、ブラック

綿100%の半袖シャツに、一枚一枚手書き
で描いたオリジナルです。
夏のカジュアル感と大人の可愛さが楽しく表
現されました。
フルーツ柄の他にビル柄、縞柄が有ります。
多色の色合いもGOOD。

NO. 6005 C100%
上代 ¥9,800



今度の展示会の頃が見頃です。

「喜地は寂しくて」と言う人でも、このシーズ
ンの昼間なら近くにいられたら訪れてみる価値は
ありますよ。
なにせここは久保利通や大養毅・吉田茂などの
政治家を初め、文豪の志賀直哉や斎藤茂吉などそ
うそうたる人達が眠る、まるで日本の近代史を地
でいっているようなところですから。

喜地といっても、
七万坪以上もある敷
地には木も多く、お
墓特有の静さもあり
ません。特にこの桜
のシーズンは人出も
多く、屋台も出たり
してとっても明るい
んです。
ランチ時は近くのオ
フィスからたくさん
の人が集まり、思い
思いの桜下でお弁当
を楽しんでいます。
あまり騒々しくも
なく、小鳥の囀き声
を聞きながらお花見の出来るところですよ。



言から武・参へ

(たむと・つれづれ)

無難なはずで始まった小社。bhf通信二号で紹介した、暑から暑になった途端に、パブルが弾けてしまいました。
「ちょっと待ってよ」という感じです。
時代というものは随分と厳しい勉強をさせてくれるのです。悪戦苦闘、七転八倒、弱肉強食等々あらゆる経験をさせてくれます。



ファッション・ビジネスは、いったいどんなになっていくんだろうと考え込んでしまいますね。絶対に今までのようにはいかないだろうとは理解できても、なかなか明快な答えは出てきません。通産省や経済企画庁の予想によると、ブティックの売上は、一九九一年に比べると二〇〇一年には六十%減になってしまつた。恐ろしい予想です。

この厳しい中で二十一世紀まで生き残っていく為には、何かヒントはないかと先賢の欧米に目を向けると、もっと恐ろしい見本がありました。

なんと欧米には日本のようなパブルはほとんど無いんですね。という事は我々パブルは生きて行けないという事か?と愕然としてしまいます。



ヨーロッパ等の工場には、ちゃんとパブル機能があるんですね。

これだったら工場から直接仕入れたほうがいいに決まっていますよね。

流通は短くなる。これは今では避けて通れない現実。もちろん一足飛びにすべてがそうなるわけではないだろうが、それを踏まえてどう自分たちは改善するべきか?。



世田、「そつは問題が起きない」といった事があつたけど、以前のパブルや問題は、それなりに魅力ある新しいファッションを次々と生み出し

て、リスクを犯して商品を持っていましたよね。

今時のコピーデザインと受注発注生産では「そんな問題はほしくない」といわれてもしかたないか?。



イギリスのニット工場のおやじは、ノーがやたらと多いおやじでした。

「それはやらない。これは不得意。そんなにたくさんやれない、やりたくない。」びっくりしました。ショックでした。日本の工場だったらほとんどイエス。と言つてケースなの。

「じゃあ、何を作ってもらえるの」というと、目を輝かして「我々の得意なのは、これ」と明確にいうんです。決して妥協しないんです。

そして最後に、「この物造りと売り方を理解し共感してもらっているから世界中から買いにきてくれるんだよ。ヨーロッパからもアメリカからもそして君のように遠い遠い日本からも。」

これは情からとか便利だからということを超えた、物造りに対する誇りと自信だと思えます。とってもいい見本でした。



マーケットや時代が要求しているからという言ひ方は学者や評論家の言葉。マーケットとはお客様一人一人であり、何々さんのこと。

要求しているという事は、言ってくれることとはではなく、黙って「うん、いい、いい、またね」というだけ。心して聞こう。

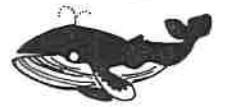
時代と共に変化する勇気を持つよう。変化とは未知との遭遇。

自分に言い聞かせます。



茶のみ話

ニット屋になる前は海外旅行の添乗員でしたチャンスがあったら是非お買め



ハワイ

出来たではなく、作られたリゾート

二十年ほど前テレビで、アップダウン・クイズという番組がありましたね。その頃は「〇問正解して、夢のハワイにご招待」というタイトルでした。その夢のハワイも今ではすっかりポピュラーになってしまいました。

ホノルルのワイキキビーチやメインストリートのカラカウア通りはリゾートとは思えないような人・人・人、しかも日本人。

あそこへ行って、あれを見て、何々を食べて、あれを買って、etc, etc.

スケジュール一杯の旅行を卒業して、リゾートとしてのハワイでのんびり命の洗濯をしたいと希望でしたら、お薦めなのがホノルルから一眺び、ほんの二十分のマウイ。

見所としてもハワイ王朝時代の首都、ラハイナや富士山より高い頂上まで車で一気に登ると、そこは月世界を思わせるハラレアカラ火山、それにホエール・ウオッチングなどたくさんあります。

でも本場のマウイの良さはのんびりできること。のんびりする為の環境が完備されていることです。自分の生活環境を離れてリラックスするためにここに来た人達が、どうすれば最もリラックス出来るかがしっかり計算され演出されているんです。

その代表がカアナバリ。

ここにいてアメリカ人のリゾート作りにかける情熱や創造力に関心させられます。まさに「出来たではなく、作られたリゾートなんです。ノースとサウスの二つのロイヤル・カアナバリ・ゴルフコースを庭に見立てて、その中にホテルやシ

ヨッピングセンターを配置しているんです。だからすべてのホテルの裏庭がゴルフ場の緑。早期、スプリングラーのしびきで小鳥が遊んでいるシーンなどは楽園そのものです。またそのコースの中をシュガートレインが走り廻を増しています。

だからゴルフしない人でもゴルフ場の美しい緑の中でゆったり過ごせる。これはなかなかの演出だと思います。

でももっとゆったりしたい。ホテルの敷地内を散歩したり、昼寝したり、眺書したりという人にお薦めは、島の北部にあるカパルアベイ・ホテル&ヴィラ。



Kapalua Bay Hotel & Villas

このホテルが気に入っているわけは、広大な敷地に素晴らしいゴルフコースを三つも持っていることながら、しっかりと落ち着いた感じのことなんです。この頃は超豪華ホテルが次々出ていますが、植えられた木々や建物が自然とシックリとマッチするにはそれなりの時間が必要なので、ハワイの美しい自然から浮き上がっていきような気がします。何年か何十年かする、溶け込んでくるのでしょうか。

ロックフェラー家の別荘として開発されたこのホテルは、美しいマウイの自然に溶け込んで、落ち着いた雰囲気や、適度なサーヴィスがとってもしゃべらせてくれるホテルです。

カパルアとは様々な。これもこのホテルが好きな大きな要因かも。

うと